

シンポジウム

「東日本大震災から7年

～防災・復興の現場から学び取る～」

写真：「千年希望の丘 慰霊碑」
(提供：岩沼市)

東日本大震災から7年が経過しました。

多くの方々のご支援とご協力により、東北地域は着実に復旧・復興の歩を進めており、その過程で、東北の自治体、教育機関、企業等は、防災・減災、大災害からの復旧・復興について多様な経験とノウハウを蓄積してきています。

国内では今後、南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が想定され、防災・減災への備えを一層充実させていくことが求められています。

そこで、東北から、東日本大震災の被災現場から学べること、企業が行う防災・減災対策や防災教育、被災後の地域再生やまちづくりに係る知見などについて情報提供を行い、情報交流・人的交流の拡大を進めるとともに、各企業等における防災体制等の充実に資することを目的として、シンポジウムを開催します。

開催日時：平成30年8月30日（木）13:30～16:30

開催場所：TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口 2階 ベガ
(愛知県名古屋市中村区則武1-6-3 ベルヴェオフィス名古屋)



【プログラム】

◆開会挨拶

◆基調講演

「東日本大震災の教訓とは？～被災現場から伝える学び～」

国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛 氏

◆中部地方整備局の取組

「南海トラフ巨大地震に備えて」

中部地方整備局 総括防災調整官 川瀬 宏文 氏

◆取組事例紹介

①「震災への企業の備え、サプライチェーン復旧の取組」

株式会社岩沼精工 代表取締役社長 千葉 厚治 氏

②「多賀城高校が取り組む防災・減災学習～研究機関、地域、企業との連携を例として～」

宮城県多賀城高等学校 校長 佐々木 克敬 氏

◆特別講演

「東日本大震災からの復興の歩み～被災者とともに、被災企業とともに～」

岩沼市長 菊地 啓夫 氏

◆閉会挨拶

定員：180名（無料）

対象：民間企業、行政機関、学校関係者等の防災にご関心のある方々

**主催：経済産業省中部経済産業局
経済産業省東北経済産業局**

後援：国土交通省中部地方整備局

お問い合わせ先：

東北経済産業局 東日本大震災復興推進室

TEL：022-221-4813

FAX：022-265-2349

参加申し込み方法：

別添「お申込み案内」をご確認いただき、8月23日（木）までに、FAXまたはWebにてお申し込みください。

講演概要

◆基調講演◆

柴山 明寛 氏（国立大学法人東北大学災害科学国際研究所准教授） 「東日本大震災の教訓とは？～被災現場から伝える学び～」

今後発生が懸念される、南海トラフ、直下型地震等の地震・津波災害の防災・減災対策に向けて、東日本の被災地の現場から学び取れる「命」と「文化」を守るための防災・減災知識についてお話いただきます。また、東日本大震災からの教訓を学ぶ機会の提供や震災記録の保存などの取組についても御紹介いただきます。



◆中部地方整備局の取組◆

川瀬 宏文 氏（国土交通省中部地方整備局 総括防災調整官） 「南海トラフ巨大地震に備えて」

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度7クラスの地震、沿岸部では津波が襲来し、甚大な被害が発生すると考えられています。

東日本大震災の教訓を踏まえ、地震の被害や経済への影響を最小にするため、中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界等が「中部圏戦略会議」を設立し、南海トラフ地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に進めている取組みなどについて、お話いただきます。



◆取組事例紹介◆

千葉 厚治 氏（株式会社岩沼精工 代表取締役社長） 「震災への企業の備え、サプライチェーン復旧の取組」

復興までの3ヶ月間、体験したからこそ「今やるべきこと」を伝えたい。どの様にして早期復興を果たせたのか？ サプライチェーンとの繋がりは？ 当時の状況を説明しながら自社だけの取組みではなく、行政や地域団体、更には隣県・遠方の同業者などが連携することの大事さや地域状況を把握しなければならない事をお話いただきます。



佐々木 克敬 氏（宮城県多賀城高等学校 校長） 「多賀城高校が取り組む防災・減災学習～研究機関、地域、企業との連携を例として～」

東日本大震災を受け防災系学科「災害科学科」を開設し3年目となる多賀城高校では、類のない防災・減災に関する授業や課外活動を展開しています。「東日本大震災の教訓の伝承」「防災・減災のための基礎的な知識・技能の修得」「外部機関、自治体、企業との連携」などを通し、多くの命と暮らしを守る人材の育成を目指しており、この特色ある取組と防災教育の必要性についてお話いただきます。



◆特別講演◆

菊地 啓夫氏（宮城県岩沼市長） 「東日本大震災からの復興の歩み～被災者とともに、被災企業とともに～」

岩沼市では、計画期間7年間の復興計画を策定し、概ね2年ごとに進捗を確認しつつ、スピード感を持って各種の事業に取り組んできました。特に、被災者のコミュニティの維持に努めた結果、被災者との意見交換や検討等が着実に進み、震災から4年半で「玉浦西」という約1,000人の新しいまちが完成しました。また、仙台空港周辺にある岩沼臨空工業団地協議会には、企業からの要望を取りまとめていただき、市民の雇用の場の確保に努めるなど、被災者、被災企業等とともに、復旧・復興を進めてきました。これらの取組事例について、お話いただきます。



＜お申込み案内＞

シンポジウム「東日本大震災から7年～防災・復興の現場から学び取る～」 参加申込書

Web申込み 東北経済産業局ホームページの参加申込みフォームに必要事項を入力して送信してください。http://www.tohoku.meti.go.jp/s_cyusyo/topics/180718.html

FAX申込み 下記申込書に必要事項をご記入の上、F A Xにてお申込みください。

企業・団体名		
	電話番号	メールアドレス
参加者	役職	氏名

FAX 022-265-2349 (東北経済産業局 東日本大震災復興推進室 行)

申込期限：平成30年8月23日(木)

※申込書に記載いただいた内容は、当シンポジウムの参加申込み手続きの目的以外には利用致しません。

【お願い】
会場へお越しの際は、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。